

琉球大学学術リポジトリ

宮古高等学校 生物クラブ 「宮古島における湧水
域の環境調査」

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学21世紀COEプログラム 公開日: 2008-12-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 洲鎌, 理恵, 下地, 瑞姫, 本永, 明 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/8607

宮古高等学校 生物クラブ

「宮古島における湧水域の環境調査」

発表者: 洲鎌理恵・下地瑞姫・本永 明

宮古島は大部分が石灰岩で覆われており、雨は地下へ浸透してしまうため河川が少なく、湧水が多い地域である。宮古島における陸水生物の研究は、藤田(2007)の地下水の甲殻類に関する研究があるが、その他はほとんど見られない。また、近年、宮古島では地下水の汚染が懸念されている。汚染源としては、降雨時の耕作地から肥料の流入や生活排水の流入などが考えられている。本研究は、宮古島の陸水生物の基礎資料を得るために、湧水の水質および生物調査を実施した。

2008年7月～10月に調査を実施した。宮古島の湧水域10ヶ所以上で生物相と水質の調査を実施した。水質調査は、パックテストを使用し、生物調査はトラップとタモ網を使用して生物を採集した。生物相調査では甲殻類5種以上、魚類3種以上が確認できた。海岸に流れる湧水域で生物の種数が多く確認できた。水質調査では畑周辺の地点と畑が近くでない地点では硝酸態窒素の値が異なった。

